

FULLSPEED
international

Corporate Presentation

2010.6.11

2010年7月期第3四半期 決算説明資料

(2009年8月-2010年4月)

■ I - Fullspeed Message 総括	
01. 2010年7月期第3四半期 総括	3
■ II - Financial Results 2010年7月期第3四半期決算報告	
01. 2010年7月期第3四半期決算 連結業績サマリー	5
02. 2010年7月期通期業績予想の修正について	6
03. 2010年7月期第3四半期連結決算概要 - 対前年同期比	7
04. 連結決算概要① - 事業セグメント別売上高の推移	8
05. 連結決算概要② - 事業セグメント別収益構成	9
06. 連結決算概要③ - 貸借対照表の概況	10
07. 事業別概況① - 有料会員制サービス「フルスピードクラブ」	11
08. 事業別概況② - Web戦略支援事業:SEO・リスティング広告	12
09. 事業別概況③ - アフィリエイト広告事業	13
10. 事業別概況④ - EC事業/データセンター事業	14
11. 事業別概況⑤ - その他広告代理事業/アパレル事業	15
■ III - Earnings Forecast 2010年7月期業績計画	
01. 2010年7月期通期連結業績計画	17
■ IV - Mid-Term Plan フルスピード中期経営計画	
01. フルスピード中期経営計画	19
02. 中期経営計画の骨子	20
03. 計画の要旨 - 具体的な取り組み①	21
04. 計画の要旨 - 具体的な取り組み②	22
05. 計画の要旨 - 具体的な取り組み③	23
■ Appendix 参考データ	
① 社員数の推移	25
② 株主保有状況 2010年5月15日現在	26

I . Fullspeed Message

総 括

当社の取り組みについて

■ 中核事業となる有料会員制サービス「フルスピードクラブ」の事業育成に注力

- ・当社の戦略をより良い形で進めるために、企業を対象とした有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を開始
- ・会員数の増加と顧客満足度向上に努めることで、当社の収益基盤の安定化につなげる
- ・一時躓くも、様々な施策を講じることで育成に注力し、足もとは好調

■ 経営体質改善および収益力強化に向け抜本的な改革に着手

- ・来期以降の大規模なコスト削減と利益体質を実現するため、本社オフィスや不採算であるEC事業を縮小
- ・保有資産の見直しを行い、一部売却による現金化などにより有利子負債の削減を行い、BSのスリム化を図る

■ 第3四半期において、今後の成長に向けた体制を整えるため、懸念材料を一掃

- ・いわゆる膿を出し尽くす意味で、既存事業や投資先などを可能な限り保守的に再評価し、特別損失を計上

(本説明資料P.5で解説)

II. Financial Results

2010年7月期第3四半期決算報告

収益の概況

■ 売上高

- アパレル販売事業を手掛けるギルドコーポレーション株式会社の連結子会社化などにより、**前年同期比0.9%増**

■ 販売費および一般管理費

- グループ全体で徹底したコスト管理に努めたものの、想定外の貸倒引当金により、**前年同期比20.7%増**
- 取引先の破産申立てによる貸倒引当金繰入額の計上が主な要因

■ 営業利益

- 上記のとおり販売費および一般管理費の増加により、営業利益は**前年同期比76.2%減**

■ 特別損失

- 不採算であるEC事業の縮小に伴い、運営する全ECサイト(15サイト)を対象に保守的に再評価、減損損失138百万円を計上
- 本社オフィスの縮小に伴う費用54百万円を移転費用引当金繰入額として計上
- 3Qにおいて、投資先を保守的に再精査した結果、投資有価証券評価損34百万円を計上

■ 四半期純利益

- 3Q中における販売費および一般管理費の増加、営業外費用・特別損失の計上などにより、四半期純損失1,104百万円を計上
- 通期業績予想の修正に関しては、本説明資料P.6で詳細を解説

2010年7月期連結通期業績予想の修正

■ 通期業績予想の主な修正要因

① 当社単体の売上高

- 「フルスピードクラブ」の営業活動を優先し各種商材ごとの営業活動を控えたことや、
「フルスピードクラブ」の受注が当初計画どおりに進捗しなかったことによる（現在は好調に）

② 販売費および一般管理費の一時的な増加とそれに伴う営業利益の減少

- グループ全体での徹底したコスト管理を行ったものの、計画外の事象によるコストが増加
- 2010年5月7日付で公表した取引先である株式会社サザンウインド・インターナショナルの破産申立てにより
同社に対する売掛債権が回収不能になるなどの貸倒が発生

③ 3Q中の特別損失の計上

- 現在当社が行っている「経営体質の改善および収益力強化に向けた取り組み」の一環として、
事業縮小に伴うECサイトや投資先の再評価による損失、本社オフィスの縮小に伴う費用などを特別損失として計上

■ 2011年7月期から2013年7月期までの3力年中期経営計画を策定

- 収益基盤の強化と財務体質の改善に努めることで、極めて短期間での業績回復をめざす
- 2010年6月11日付で別途公表（本説明資料P.20-24で解説）

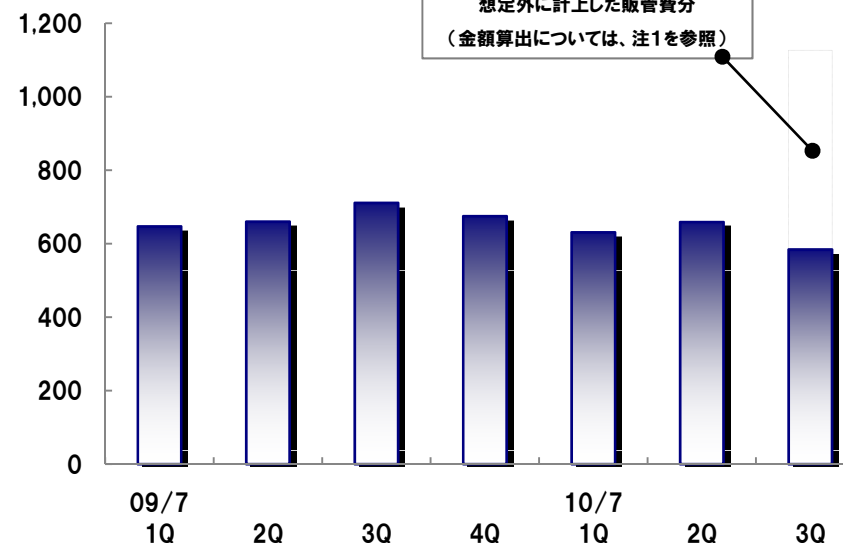
【単位:百万円、以下切捨て】

	2009/7 3Q累計	2010/7 3Q累計	前年同期比
売上高	9,765	9,851	+0.9%
売上総利益	2,329	2,511	+7.8%
売上総利益率	23.9%	25.5%	
販管費	2,019	2,437	+20.7%
販管費率	20.7%	24.7%	
営業利益	309	73	-76.2%
営業利益率	3.2%	0.7%	
経常利益	284	△75	-
経常利益率	2.9%	-	
四半期純利益	△126	△1,104	-
四半期純利益率	-	-	

引き続き徹底したコスト削減を実施したものの、
今期3Qは貸倒引当の増加などが主な要因となり、販管費が増加
想定外のコスト増加を除けば、低い水準で推移

■ 四半期別販管費の推移

(百万円)



(注1)金額の算出について

2010年7月期3Q販管費総額(公表値)から、想定外の事象によりコスト増の要因となった貸倒引当金や、2010年4月1日より連結対象となったギルドコーポレーション(株)の販管費を減算し、実質の販管費の金額を算出しています。

【単位:百万円、以下切捨て】

事業セグメント	2009/7 3Q		2010/7 3Q		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
SEO	1,344	13.8%	1,097	11.1%	-18.4%
リスティング広告	3,994	40.9%	3,288	33.4%	-17.7%
その他広告代理	262	2.7%	296	3.0%	+12.7%
付加サービス	163	1.6%	155	1.6%	-4.9%
Web戦略支援事業	5,764	59.0%	4,837	49.1%	-16.1%
アフィリエイト広告事業	1,387	14.2%	1,608	16.3%	+16.0%
Webサイト運営・販売	115	1.2%	4	0.1%	-96.5%
EC合計	1,097	11.2%	906	9.2%	-17.4%
法人向けEC	-	-	338	3.4%	-
消費者向けEC	-	-	568	5.8%	-
インターネットメディア事業	1,212	12.4%	910	9.3%	-24.9%
データセンター事業	474	4.9%	489	5.0%	+3.3%
その他広告代理事業	143	1.4%	925	9.4%	+544.4%
アパレル事業	-	-	474	4.8%	-
その他事業	807	8.3%	647	6.6%	-19.7%
消去又は全社	△ 23	-0.2%	△ 44	-0.5%	-
連結合計	9,765	100.0%	9,851	100.0%	+0.9%

■ セグメント区分の表記について

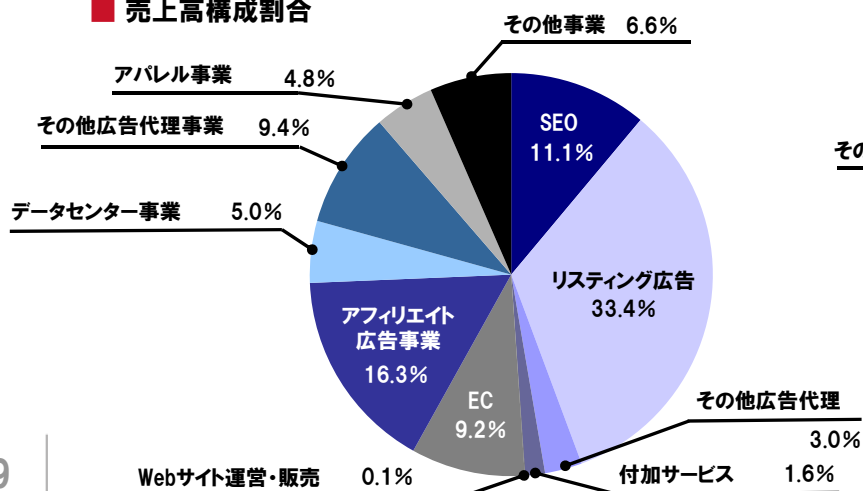
・ 今期3Qよりセグメント区分を一部変更

- ① 子会社であるギルドコーポレーション株式会社が運営するアパレル製造・販売事業をアパレル事業として新設
- ② 子会社である株式会社DSCが行う土業専門の広告代理などWeb以外の広告代理事業をその他広告代理事業として新設

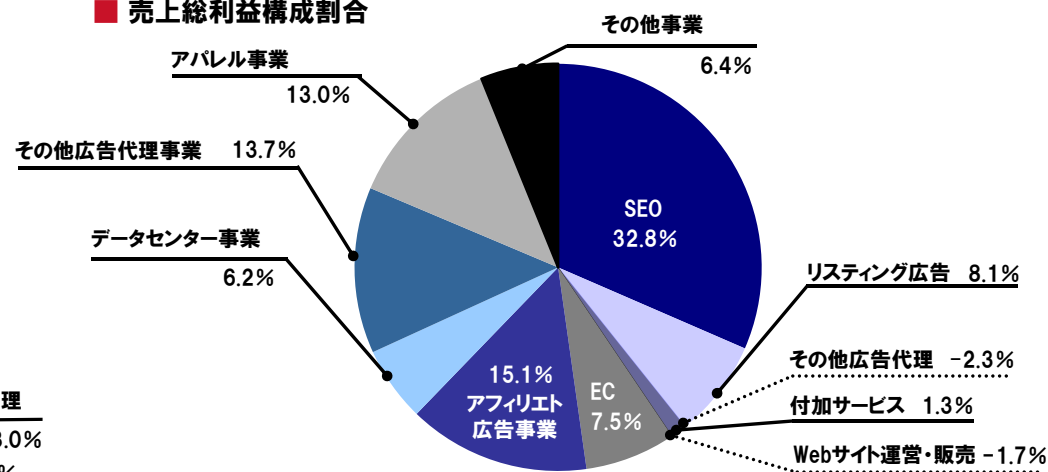
【単位:百万円、以下切捨て】

事業セグメント	売上高	構成比	売上総利益	売上総利益率	売上総利益構成比
SEO	1,097	11.1%	823	75.1%	32.8%
リスティング広告	3,288	33.4%	202	6.2%	8.1%
その他広告代理	296	3.0%	-58	-19.7%	-2.3%
付加サービス	155	1.6%	33	21.5%	1.3%
Web戦略支援事業	4,837	49.1%	1,001	20.7%	39.9%
アフィリエイト広告事業	1,608	16.3%	378	23.5%	15.1%
Webサイト運営・販売	4	0.1%	-42	-1044.8%	-1.7%
EC合計	906	9.2%	188	20.8%	7.5%
法人向けEC	338	3.4%	81	24.0%	3.2%
消費者向けEC	568	5.8%	107	18.9%	4.3%
インターネットメディア事業	910	9.3%	146	16.1%	5.8%
データセンター事業	489	5.0%	155	31.7%	6.2%
その他広告代理事業	925	9.4%	344	37.2%	13.7%
アパレル事業	474	4.8%	326	68.8%	13.0%
その他事業	647	6.6%	160	24.8%	6.4%
消去又は全社	-44	-0.5%	-2	-	-0.1%
連結合計	9,851	100.0%	2,511	25.5%	100.0%

■ 売上高構成割合



■ 売上総利益構成割合



■ 資産の部

【単位: 百万円、以下切捨て】

	2009/7 (期末)	2010/1 (2Q末①)	2010/4 (3Q末②)	増減 (②-①)
現金及び預金	1,680	2,008	1,352	-656
売掛金	1,942	1,824	2,223	+399
未収入金	115	112	82	-30
商品	80	73	418	+345
その他	469	472	445	-27
流動資産合計	4,286	4,489	4,520	+31
建物 (純額)	233	288	347	+59
工具器具備品 (純額)	270	268	279	+11
土地	172	172	172	0
その他 (純額)	11	16	104	+88
有形固定資産	686	744	902	+158
のれん	837	802	2,614	+1,812
その他	103	95	2	-93
無形固定資産	940	897	2,696	+1,799
投資有価証券	1,431	1,023	628	-395
差入保証金	467	373	683	+310
繰延税金資産	54	13	87	+74
その他	162	171	149	-22
投資その他の資産	2,114	1,580	1,547	-33
固定資産合計	3,742	3,222	5,146	+1,924
総資産	8,028	7,712	9,666	+1,954

・主にはギルドの子会社化(株式取得および債権の買取)に伴う減少

・ギルドの子会社化による増加

・ギルドの株式取得による増加

・投資有価証券評価損の計上

・ギルドの子会社化に伴う店舗の保証金による増加

■ 負債・純資産の部

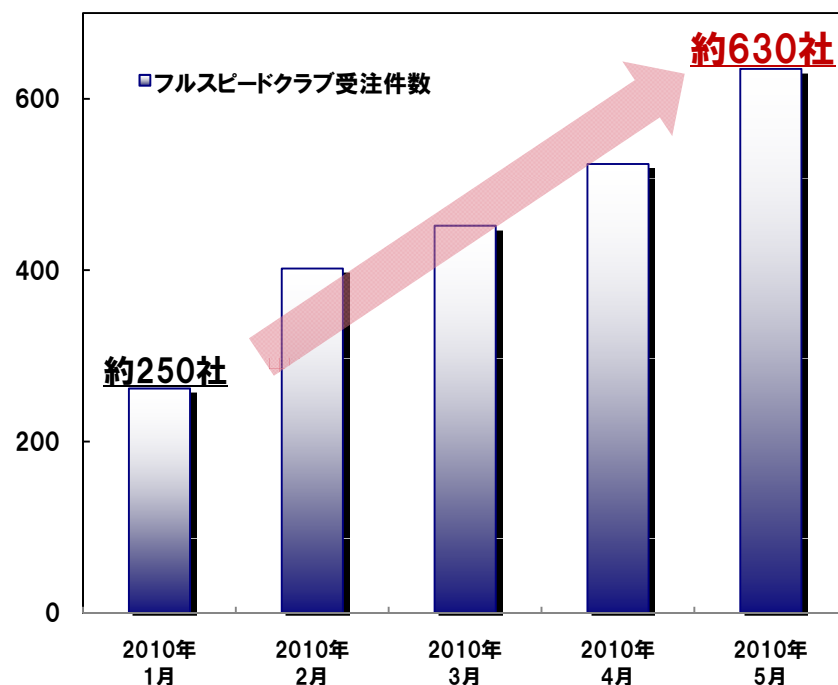
	2009/7 (期末)	2010/1 (2Q末①)	2010/4 (3Q末②)	増減 (②-①)
買掛金	922	1,011	1,591	+580
短期借入金	2,550	2,600	2,595	-5
1年内返済長期借入金	394	407	741	+334
未払金	177	142	278	+136
未払法人税等	108	91	368	+277
その他	90	111	380	+269
流動負債合計	4,241	4,362	5,953	+1,591
長期借入金	670	666	1,369	+703
その他	131	235	313	78
固定負債合計	801	901	1,682	+781
負債合計	5,042	5,263	7,636	+2,373
資本金	691	691	697	+6
資本剰余金	662	662	668	+6
利益剰余金	1,527	979	365	-614
株主資本合計	2,880	2,332	1,731	-601
純資産合計	2,985	2,448	2,030	-418
負債純資産合計	8,028	7,712	9,666	+1,954

・ギルドの子会社化に伴う製造にかかる費用や商品仕入れによる増加

・ギルドの株式取得による増加

「フルスピードクラブ」の進捗状況

■ 「フルスピードクラブ」受注件数の推移



■ 現状

3月は低迷したものの、足もとの月次の伸びは極めて順調

→ 課題であった営業スタイルの転換が進む

■ 事業セグメントの新設について

- ・中核事業としての動向を示すため、
会計的な体制も整え、来期からの新セグメント化を予定

3Qの受注状況は計画どおりに進捗しなかったものの、積み上げ型により売上高は着実に増加

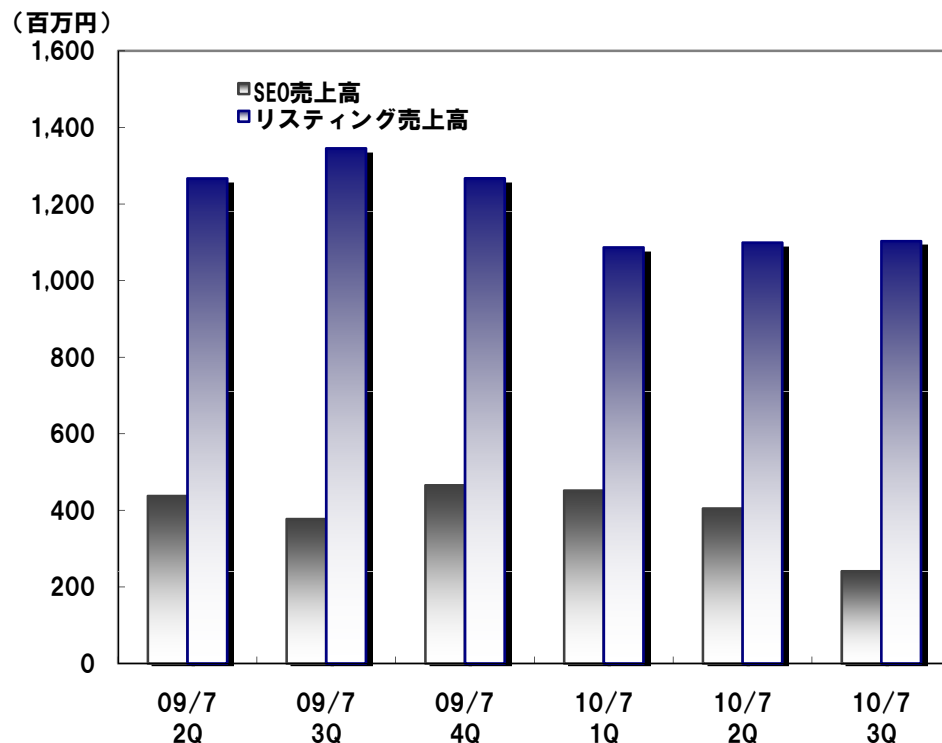
特に目先の受注は好調

「フルスピードクラブ」の営業活動では、企業ニーズを引き出すことが重要

引き続き営業人員の育成に重点的に取り組む

SEO・リスティング広告の動向

■ 四半期別売上の推移



■ SEO/リスティング広告の状況

「フルスピードクラブ」の推進に伴い、各商材への影響が顕著に

→SEOの状況

「フルスピードクラブ」の営業活動に注力した結果、

3Qの売上/受注キーワードは減少

→リスティング広告の状況

会員となり初めてリスティング広告を利用する企業も多く、

アカウント数は増加傾向

■ SEO受注キーワード数/リスティング広告アカウント数の推移

【SEO受注キーワード数(延べ)の推移】

09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q
2,413	3,049	3,014	2,732	2,579

【リスティング広告アカウント数の推移】

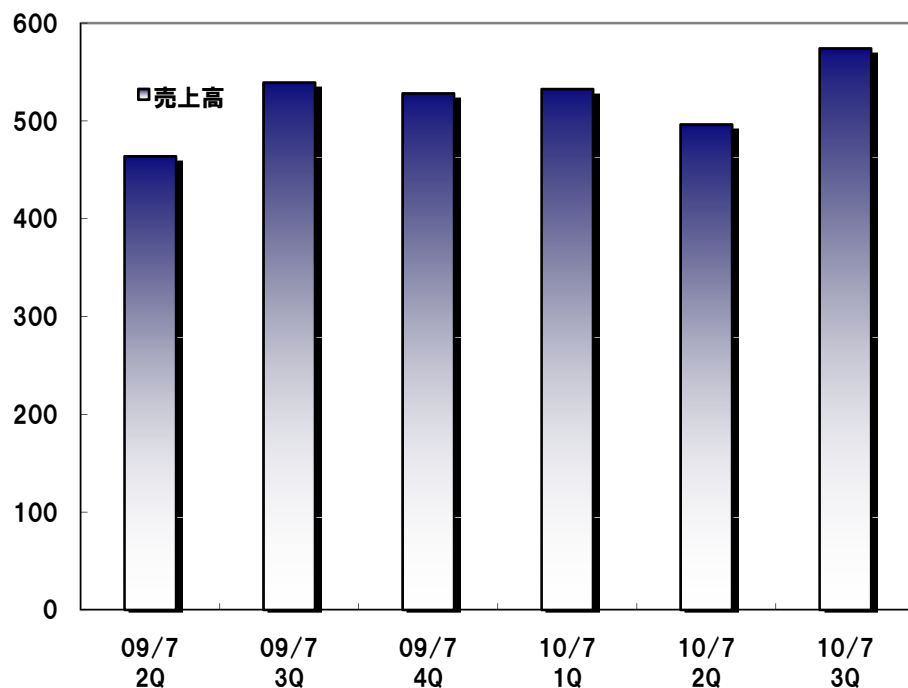
09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q
1,891	1,939	2,100	2,277	2,426

「フルスピードクラブ」の会員獲得を優先し、各商材ごとの営業活動を控えたことや
既存顧客の解約などが影響

アフィリエイト広告の動向

■ 四半期別売上高の推移

(百万円)



■ アフィリエイト広告事業の状況

レーシックなど業界特有の事象により、一部顧客の利用は減少するが、物販の顧客群は順調に拡大し、売上高をけん引

→ 主に美容、食品、健康関連、ダイエット関連商品など

分社化により、4月1日からは独自の営業を展開

→ 独自の営業に加えて、代理販売も積極活用するなどシェアの拡大を狙う

→ サービスラインナップの充実にも着手(4Qより新サービスの販売を開始)

■ プロモーション数/提携サイト数の推移

【プロモーション数の推移】

09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q
1,478	1,712	1,992	2,312	2,566

【提携サイト数の推移】

09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q
52,799	59,596	65,406	72,700	81,027

独自の営業展開を行うなど、より効率的に事業を推進するため、アフィリエイト広告事業の分社化
100%子会社(株式会社フォーイト)が2010年4月1日より営業開始
代理販売も積極的に活用するなど、業界における競争力を高めることで、売上拡大へ

EC(法人向け/消費者向け)の状況

- 厳しい現状を踏まえ、EC事業を縮小
 - ・ 昨今の消費低迷や法人企業の予算縮小などの影響により、売上が低迷
 - ・ 将来的な採算の確保が困難と判断し、現在保有している全サイトを対象に再評価を実施、減損損失を計上
- 子会社である(株)ベッコアメ・インターネットが運営する消費者向けECおよびモバイル運営受託は堅調に推移
 - ・ 3Q中に、アパレルとジュエリーのECサイトも加わり、合計3サイトの消費者向けECを運営

データセンター事業の状況 (連結子会社:株式会社ベッコアメ・インターネット)

- 2010年7月期3Q末現在の稼働率は70.0% (2Q末:70.0%)
 - ・ 新規顧客の開拓に注力した結果、受注は回復の兆し
 - ・ 特にコンテンツプロバイダーからの受注が増加傾向
- ホスティングの需要は引き続き堅調に推移
 - ・ 付加価値の高いホスティングサービスの提供も開始 (ホスティング+ソリューションサービスのセット販売が順調)

その他広告代理事業の状況

- 3Qより事業セグメントを新設
 - ・ Web以外の広告代理事業を区分
 - ・ 主には、弁護士、司法書士などの士業専門の広告代理業を行う株式会社DSCが主
- 業界的に広告利用が活発になったことが追い風となり、継続して売上が拡大。90%以上のリピート率
- 「債務整理」を中心に「相続・遺言」「交通事故」などの案件の種別に対応した受注が多数

アパレル事業の状況（連結子会社:ギルドコーポレーション株式会社）

- ギルドコーポレーション株式会社の概要
 - ・ 「GILFY」、「BACKS」、「RE DARK」の3ブランドを展開するアパレル企業
 - ・ 10代・20代を中心とした流行に敏感な女性に支持され、渋谷109を代表する存在にまで急成長
- 2010年4月1日より連結対象となり、3Q決算には1ヶ月分を計上
- 3Q末時点の店舗数:32店
- 3Q末時点の従業員数:244名（アルバイト含む）

III. Earnings Forecast

2010年7月期業績計画

2010年7月期 連結業績計画の修正

		通期				
		2009/7	2010/7			
			実績	計画 (期初公表)	計画 (3/12修正)	計画 (今回修正)
(単位:百万円)						
売上高		13,249	15,912	15,219	14,383	+8.4%
営業利益		642	961	1,003	△6	-
営業利益率		4.9%	6.0%	6.6%	-	-
経常利益		613	921	976	△165	-
経常利益率		4.6%	5.8%	6.4%	-	-
当期純利益		105	411	90	△1,215	-
当期純利益率		0.8%	2.6%	0.6%	-	-
1株あたり当期純利益(円)		743.20	-	636.71	△8,468.79	-

第3四半期決算は、想定外の事象などによる販管費の増加や、
経営体質改善の取り組みの一環として特別損失を計上したことなどにより、今期の損失幅が拡大
2010年7月期通期業績予想を修正

IV. Mid-Term Plan

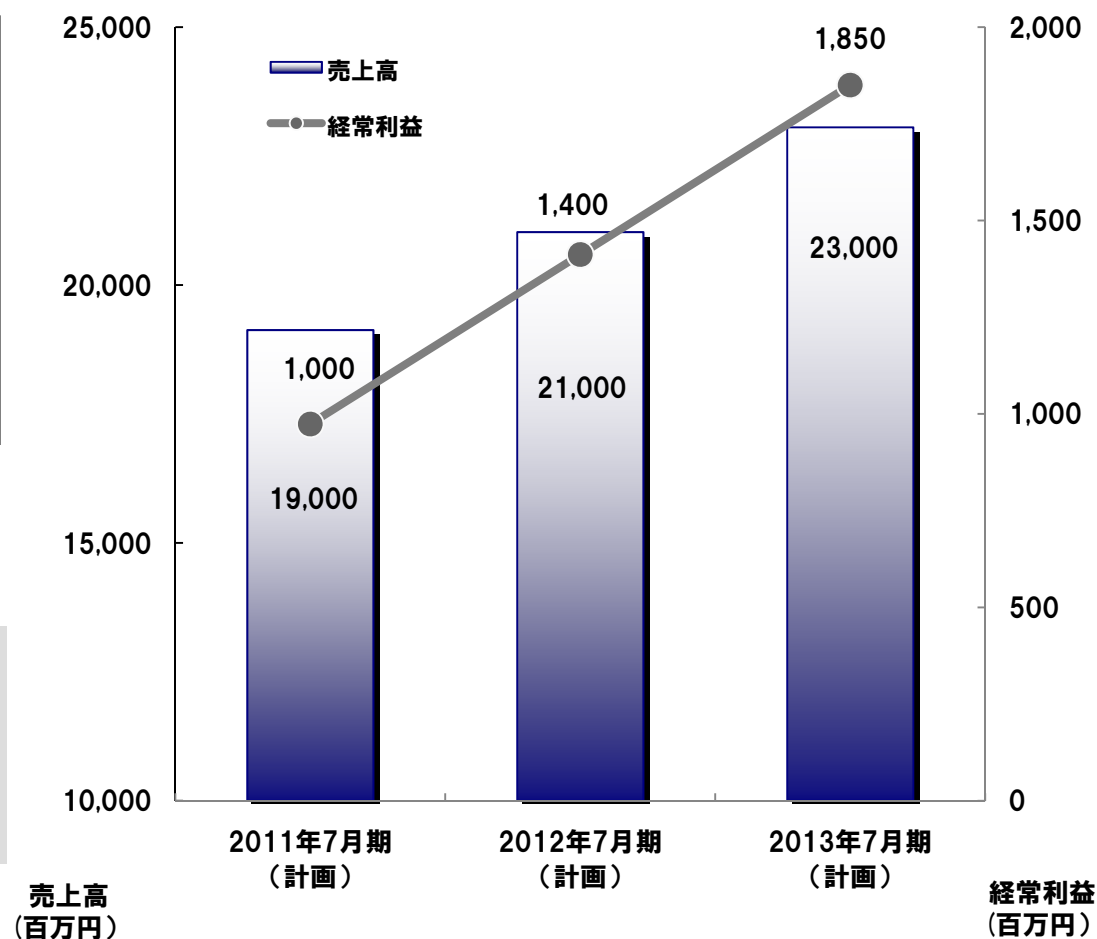
フルスピード中期経営計画

2011年7月期－2013年7月期における経営計画

【単位:百万円、以下切捨て】

	2011年7月期 (計画)	2012年7月期 (計画)	2013年7月期 (計画)
売上高	19,000	21,000	23,000
営業利益	1,050	1,450	1,900
経常利益	1,000	1,400	1,850

2011年7月期から2013年7月期までの3カ年を
さらなる飛躍のための準備期間と位置付け、
収益力の強化と財務体質の改善・強化に取り組む



中期経営計画の達成に向けた取り組みの骨子

「収益力の強化」と「財務体質の改善・強化」**■ 今後の成長を支える事業の育成に注力**

- 中核事業「フルスピードクラブ」の育成により、収益基盤の安定化
- アフィリエイト、データセンター、アパレル、広告等の子会社も引き続き伸長

■ 不採算事業の縮小

- 利益のでない事業からの撤退

■ 徹底したコスト削減の実施

- 原価および販管費など全コスト対象。オフィス縮小などを含め、徹底

■ 有利子負債の削減、バランスシートのスリム化

- 保有資産の見直し
- 資産売却による現金化

取り組み内容

I. 中核事業である有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を中心とした収益モデルへの転換

- 提供サービスの価格低減、サービスレベルの向上など会員企業に対し高いメリットの提供が可能に
- 会員数の増加と顧客満足度の向上が、結果的に当社の収益基盤の安定化につながる好循環を生む
- 目先の受注状況は好転、軌道に乗り始める
- 従来のサービスと比べ、顧客満足度が高い

II. 有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を軸とする営業体制の確立

- 営業組織全体のスキル向上
- 営業員一人あたりのパフォーマンス向上
- 自社コールセンターの積極活用による営業効率の向上
- 業界動向の分析など、顧客企業をより理解するための各種データを活用

取り組み内容

III. 不採算事業の縮小

- ・現在の業績動向などを再評価し、今期3Qに全ECサイトを対象に減損損失を計上
→ 今後はECサイトの売却を進める予定

IV. その他事業

- ・2010年4月1日より連結対象となったギルドコーポレーション(株)によるアパレル販売事業などを含む

V. コスト(原価および販管費)削減の実施

- ・グループ全体の効率化によるコスト削減
- ・本社オフィス(渋谷マークシティ)の地代家賃の削減・・・既存面積を1/2以下に縮小し、2010年8月より減額

取り組み内容

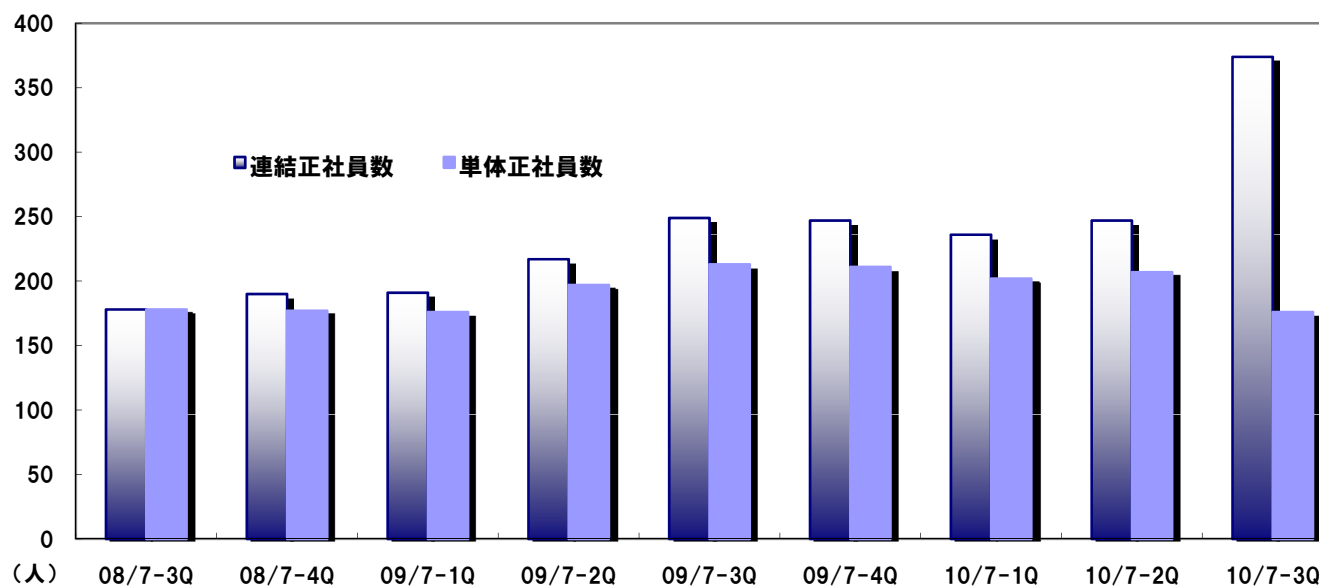
VI. 財務体質の改善

- 有利子負債の削減
 - 保有資産の見直し、一部売却による現金化
 - 今回策定した中期経営計画に基づき、将来の展開を見込んで投資していた企業(投資先)の見直し
(投資有価証券の売却も視野に)
- 2011年7月期中には有利子負債を削減し、バランスシートのスリム化を図る

Appendix

参考データ

社員数（連結・単体）の推移



■ 連結正社員数

08/7-3Q	08/7-4Q	09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q
178	190	191	217	249	247	236	247	374

■ 単体正社員数

08/7-3Q	08/7-4Q	09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q
178	177	176	197	213	211	202	207	176

(注)

①連結正社員数の増加要因:2010年4月よりギルドコーポレーション株式会社が連結対象となったことに伴い、2010年7月期3Qの連結正社員数は増加しています。

なお、ギルドコーポレーション株式会社の正社員数は116名です。

②単体正社員数の減少要因:アフィリエイト広告事業の分社化(株式会社フォーイトの設立)に伴い、当社の事業部に属していた人員を単体の社員数より除外したためです。

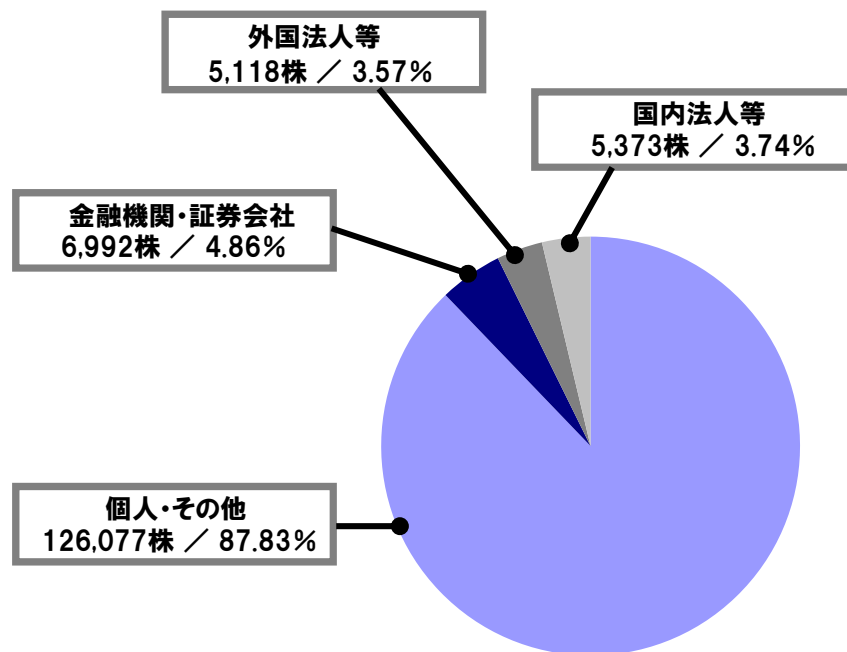
発行済株式の総数

143,560株

株主数

6,736名

■所有者別の状況



■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
芳賀麻奈穂(当社代表取締役)	(注1)70,140	48.86%
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	2,148	1.50%
坂本剛(当社元取締役)	2,000	1.39%
コムチュア株式会社	1,710	1.19%
ブルービット株式会社	1,500	1.04%
日本証券金融株式会社	1,326	0.92%
株式会社SBI証券	937	0.65%
一般個人株主	900	0.63%
松井証券株式会社	834	0.58%
一般個人株主	800	0.56%

(注1) 2010年6月4日付で提出した大量保有報告書によると、1,478株が処分され、68,662株(持株比率:47.83%)となっています。

■IRお問い合わせ先

管理本部 企画・IR部

TEL: 03-5728-4460 / FAX:03-5728-4461

E-mail: ir@fullspeed.co.jp

本資料は株式会社フルスピードに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。